

# 広畑タイムズ

## 家庭と学校をつなぐ二小便り

令和3年3月15日発行

第509号

大野第二小学校

校長



## 神奈川の森さんから子どもたちへ

神奈川県の森さんから、子どもたちへの手紙とレタックス、CDが届きました。これが最後の手紙ということで、全文掲載します。

思い出 10年を振り返って

2011年3月11日の東日本大震災から10年。あの日あのとき、私はデイサービスにいました。震源から遠く離れた三浦でも揺れはすさまじく、今まで経験したことのない大きなものでした。電気は止まり、ようやく家に帰って

テレビで知った現地東北は、未曾有の災害に見舞われていました。病気でいつも支えられている私は、テレビから流れる被災地の報道に心が痛みました。被災地のために役に立てることはないかと自問自答しました。幸運なことに、知人と交流のあった子どもの詩をメロディにと、青少年育成活動教育をなさっている赤松泰子さんのお力添えをいただき、福島県いわき市立大野第二小学校との絆を結ぶことができました。

私は子どもたちの心の復興の手助けになればと思っていました。最初は手紙や自作の詩集、片手で作った趣味の手作り作品に、いっぱい思いを込めて贈りました。この作業は自分でも楽しく、頑張れば思いは叶うという達成感を味わうこともできました。大野二小の子どもたちはとても愛らしく、私は「天使達」と呼んでいます。その天使達からも多くのエールを届けていただきました。支えるつもりの私が支えられてきました。天使達や学校関係者の皆様、保護者の皆様方からの心の込められたお礼状を読むと、熱い文面で感極まり、体の不自由な私を元気づけてくれる言葉が綴られていました。

2013年の学習発表会にお招きいただき、天使達や先生方、地域の方々、予想もなかった大勢の皆様方に出迎えられ、感動で涙が止まりませんでした。大野の山々は紅葉で赤く染まり、私のほほも心も、温かく染まりました。天使達も地域の方々も心の傷が癒えないのに、他の人のことを心配する優しさを持っていました。いわきの方々の優しさは決して忘れることがありません。私は大勢の人々に支えられているのだと、改めて感謝の気持ちを持ちました。その思いはきっと天使達に伝わって、次から次へと広がり、「誰かのため」に大輪の花を咲かせてくれるものと思っています。

その後、大野二小に3度訪問いたしました。学習発表会での天使達は堂々として、元気で笑顔で熱演し、私は圧倒され、感無量でした。また、学校から時折送られてくるDVDには、天使達の活動的でパワーのある笑顔があふれていました。天使達の笑顔は私にとっ



ての特効薬です。本当にありがとうございました。

148年の歴史ある学び舎は閉校となっても、決して思い出は消えることはありません。卒業生は未来に向かって飛躍し、天使らしくいつまでも清い心をもってほしいと思います。大浦小に統合される天使達も、新しい友達と仲良く楽しい学校生活を送ってください。天使達ならきっと大丈夫です。よい子たちの笑顔のあいさつは、きっと人と人との心を結んでくれますから。どんなに遠くにいても空はつながっているのです。人も、この大空の下でいつも一緒です。寂しくはありません。「誰かのため」の行いは自分のためにもなります。元気を差し上げるつもりが元気をいただくことができます。

震災直後に出会えた天使達は、進学し、社会人として社会のために貢献していることでしょう。コロナ禍でもあり、いろいろと大変なこともあるとは思いますが、やがて明るい兆しはやってきます。健康に気を付けて、お身体を大切にしてお過ごしください。私のポケットには思い出がいっぱい詰まっています。私は幸せ者です。私は病気を持っていますが、不幸ではありません。自分のことを精一杯しながら、笑顔の多い日々を送ることができるのも、支えてくれている方々がいるからです。

天使達、そして大野二小の先生方、縁あって強く生きていく力をいただいたことに、改めて感謝いたします。ありがとうございました。天使達のことはずっと忘れません。幸せはいつも心の中に！

令和3年3月吉日

森

## 本当にほっぺたが落ちるほどなのか

3年生の国語の時間に習った「モチモチの木」。その中に出てくる「とち餅」は本当にほっぺが落ちるほどおいしいのか？疑問に答えるべく、担任の先生がとち餅を買ってきて、全校児童に食べさせてくださいました。その答えは？写真や動画の子どもの表情が物語っていますね。



おいしいものを食べさせてもらってよかったですね。ありがとうございました。